



MONITOUCH

テクニカルインフォメーション

2009年10月22日

テーマ	キエンス KV シリーズ + シリアルコミュニケーションユニットとの接続に関して		
該当機種	モニタッチ : V8 シリーズ PLC : KV シリーズ + シリアルコミュニケーションユニット	No. TI-M-1016-1	1/6

1. 目的

KVシリーズシリアルコミュニケーションユニット (KV-L20/KV-L20R/KV-L20V) は、RS232C専用D-Sub9ピンコネクタ (PORT1) と、RS232C/RS422Aの切替可能な端子台 (PORT2) の2つのシリアルポートを装備しています。

本資料では、PLC : KV-700 + KV-L20との接続を例にして説明します。

※CPU型式とシリアルコミュニケーションユニット型式について

エディタPLC選択	CPU	ユニット
KV-700	KV-700	KV-L20
		KV-L20R
KV-1000	KV-1000	KV-L20R
		KV-L20V
KV-3000/5000	KV-3000	KV-L20V
	KV-5000	

2. 接続環境

モニタッチ : V810iS

PLC : KV-700 + KV-L20

使用ソフト : KV STUDIO Version 5.00

3. 設定方法

KV-L20のPORT1又はPORT2に、以下の設定で接続します。

ボーレート : 57600bps

データ長 : 8ビット (固定)

ストップビット : 1ビット (固定)

パリティ : 偶数 (固定)

4.

V-SFTの設定

- ① V-SFT-5を立ち上げ、新規画面を作成します。
 モニタッチの機種を選択し、[OK]をクリックします。
 次に、PLCの機種を「キーエンス KV-700」を選択し、[OK]をクリックします。



- ② [接続機器設定]画面の設定を行います。
 [通信設定]でモニタッチの信号レベル (RS-232CまたはRS-422/485) とボーレートを設定します。

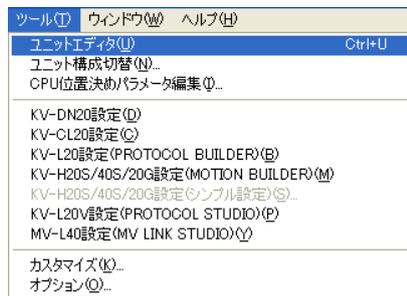


※[細かい設定] [接続先設定]タブの設定は、特に変更する必要はありません。

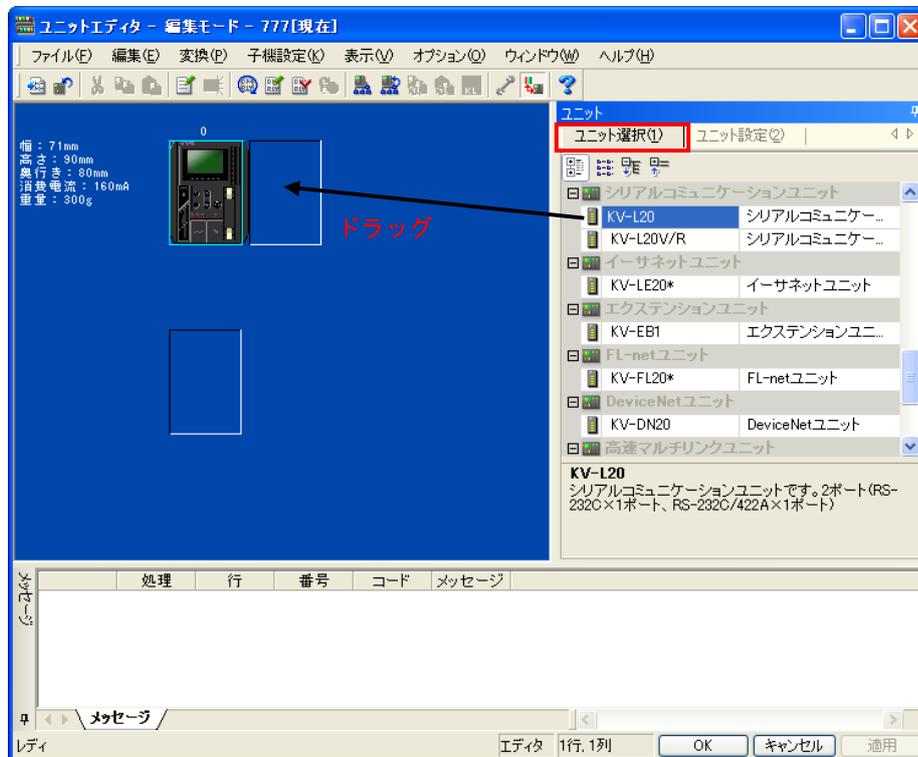
モニタッチの通信設定は完了です。
 画面データをモニタッチに転送します。

KV STUDIOの設定

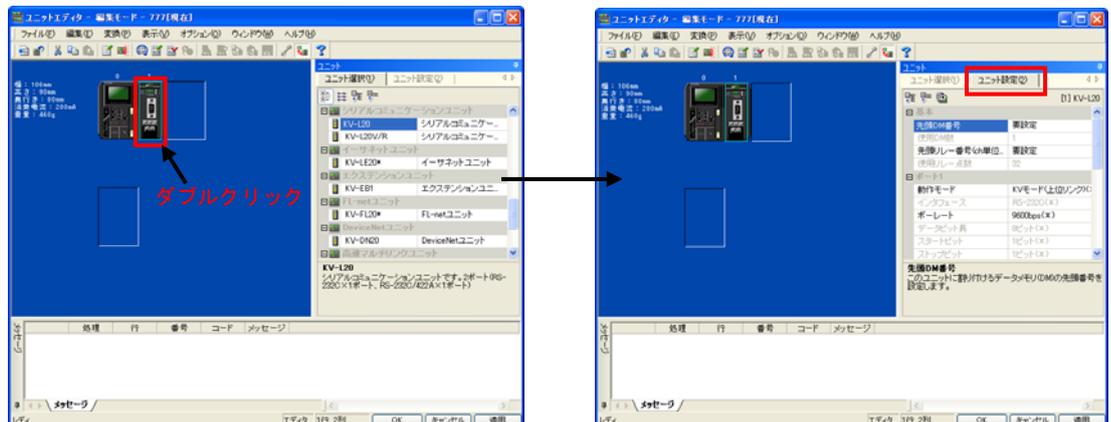
- ① KV STUDIOを起動します。
[ツール]→[ユニットエディタ]を選択します。



- ② [ユニットエディタ]が表示されます。[ユニット選択(1)]にてユニット構成を行います。
シリアルコミュニケーションユニット:KV-L20をドラッグしてユニット構成に追加します。



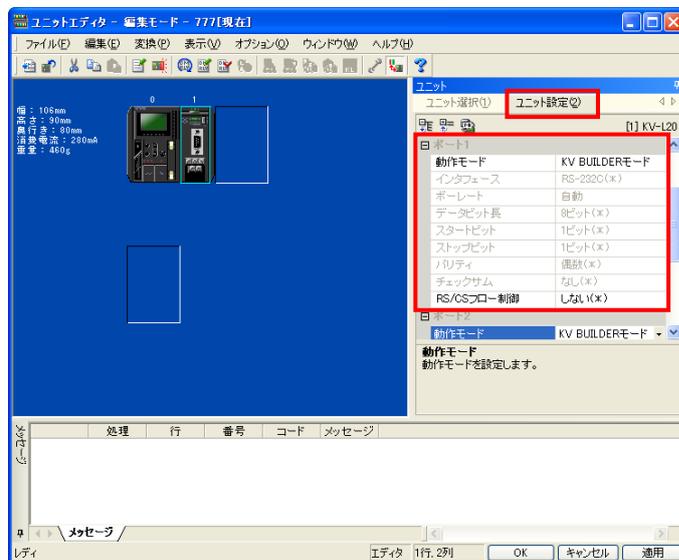
- ③ ユニット構成に追加したKV-L20をダブルクリックして[ユニット設定(2)]を開きます。



④ [ユニット設定(2)]で接続ポートや動作モードの設定を行います。

◆ PORT 1で接続する場合

動作モード : KV BUILDERモード
 インタフェース : RS-232C
 ポーレート : 自動
 データビット長 : 8ビット
 スタートビット : 1ビット
 ストップビット : 1ビット
 パリティ : 偶数
 チェックサム : なし
 RS/CSフロー制御 : しない



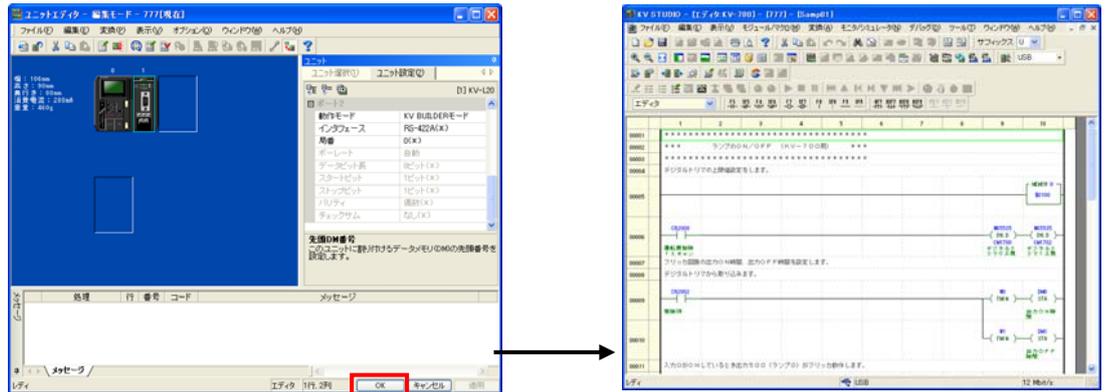
◆ PORT 2で接続する場合

動作モード : KV BUILDERモード
 インタフェース : RS-232C 又は RS-422A
 局番 : 0
 ポーレート : 自動
 データビット長 : 8ビット
 スタートビット : 1ビット
 ストップビット : 1ビット
 パリティ : 偶数
 チェックサム : なし

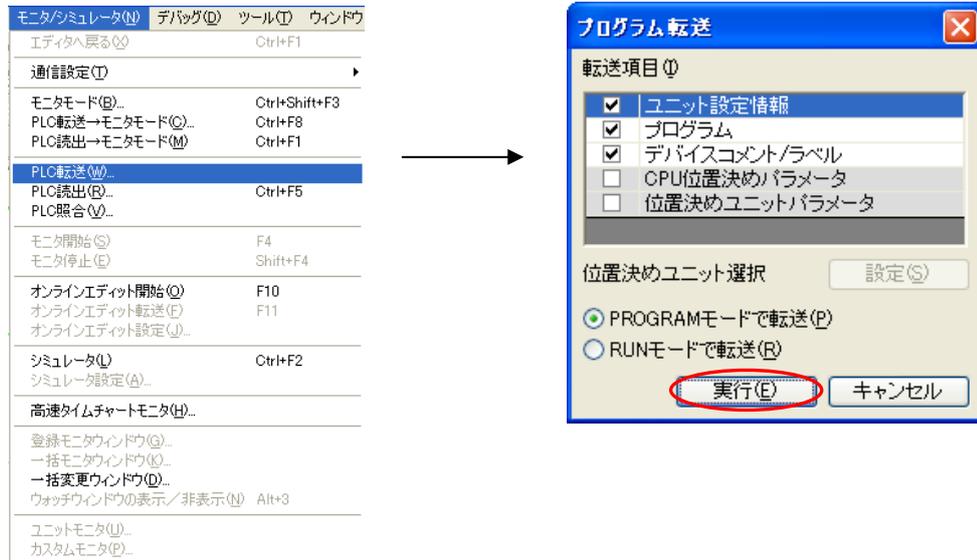


※ シリアルコミュニケーションユニット:KV-L20R/KV-L20Vをご利用の場合には、動作モード:KV BUILDER/KV STUDIOモードを選択します。その他の設定は、KV-L20と同じです。

- ⑤ 設定が完了したら、[OK]で[エディタ]に戻ります。



- ⑥ [モニタ/シミュレータ]→[PLC転送]を選択し、設定した内容を転送します。
 プログラム、コメント等も全て転送する場合は、全てチェックを入れます。ユニット設定情報のみの場合は他のチェックを外しかてら[実行]をクリックします。



- ⑦ 転送完了後に、PLC電源をリセットして設定は完了です。

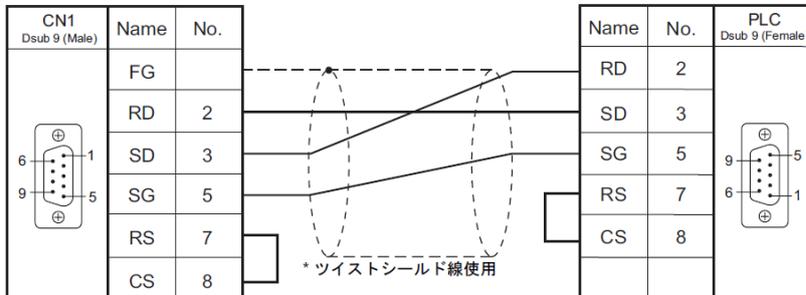
5. 接続

◆PORT 1の場合

RS-232C

Vシリーズ

KV-L20/R/V(PORT 1)

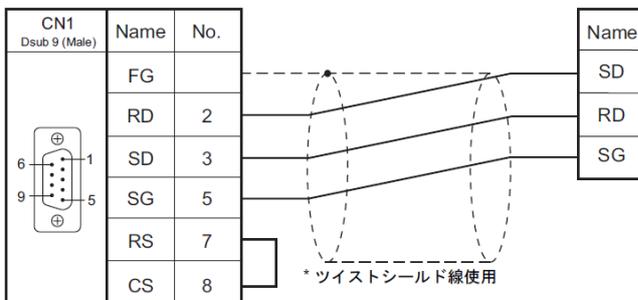


◆PORT 2の場合

RS-232C

Vシリーズ

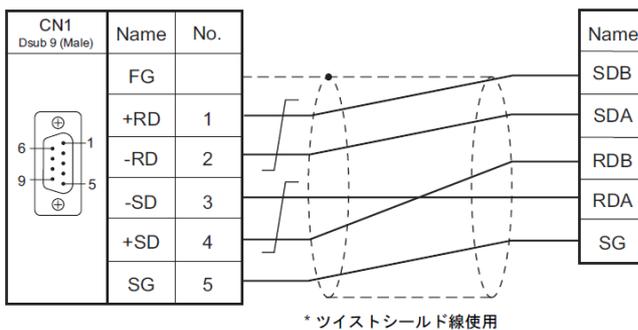
KV-L20/R/V(PORT 2)



RS-422

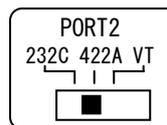
Vシリーズ

KV-L20/R/V(PORT 2)



ポート2切換スイッチ

KV-L20/KV-L20Rの側面に“ポート2切換スイッチ”が付いています。
ポート2をRS-232C、RS-422のどちらで使用するかを設定するスイッチ
です。正しく設定してください。



※ V8シリーズのMJ1/MJ2で接続する場合の結線は、『V8シリーズ接続マニュアル』をご確認ください。

お問い合わせは...

発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208